

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2023年12月10日発行 【再刊第17号】

今号の話題

- 氷濤まつり安全祈願祭
氷像制作が本格始動
- 新千歳でeスポーツチャレンジ
IT教育、人材育成に期待
- 第3回鮭の日・アイヌフェスタ
体験と押して文化学ぶ

支笏湖神社で安全祈願祭

2024年1月27日～2月
25日に園地第5駐車場で開催

氷濤まつり準備始動

千歳・支笏湖氷濤まつり・氷の美術館の会場制作作業の安全とまつりの成功を願う安全祈願祭が11月28日、千歳市支笏湖温泉の園地にある支笏湖神社で執り行われました。主催する支笏湖まつり実行委員会は観光連盟が事務局を務めており、祭事には実行委をはじめ地元関係者など20人が出席しました。



会場制作作業の安全とまつりの成功を願う安全祈願祭

神事では、神職が祝詞を奏上して作業の安全、千客万来、新型コロナウイルス、インフルエンザをはじめ感染症の早期鎮静を祈願。続いて出席者が神前で二礼二拍手一礼の作法に則って、玉ぐしをささげて祈りました。主催者を代表して観光連盟副会長である小林典幸実行委員長が制作作業の安全への決意と成功への意気込みを述べました。祈願祭後、氷像の骨組みを組み立てる作業が本格的に進められています。再利用できる木材や不要

な伐採樹木などを活用しての制作作業です。今後は骨組みに漁網や木の枝などを掛けて、日本屈指の透明度を誇る支笏湖の湖水を散布することで美しい支笏湖ブルーの氷像を生み出します。例年であれば、12月下旬から湖水をノズルで散布する作業が始まります。全ては天候次第で、気象条件に加えて長年制作に携わる実行委会場制作委員会メンバーの経験が活かされます。

2023年度は環境省により、まつり会場の整備事業が実施されました。第5駐車場の電柱を除去するなどして、氷像制作のために利用できる面積が例年より拡大しています。これまでにないまつりを見せてくれることでしょうか。

まつりは2024年1月27日～2月25日の期間、支笏湖温泉で開催されます。ライトアップは午後4時半～同8時。高校生以上500円、中学生以下無料。

eスポーツの可能性

新千歳空港でeスポーツチャレンジ

IT人材育成、交流人口拡大に期待も

オンライン対戦型ゲームの技能を競うeスポーツイベント「北海道エアポートeスポーツチャレンジ」が11月26日、新千歳空港国際線ターミナルビルのポルトムホールで開催されました。約1900人が来場し、ゲームのほか千歳と近郊の大学、高専によるプログラミングなどの体験ブースを楽しみました。

新千歳空港をはじめ道内7空港を管理・運営する北海道エアポート主催。千歳観光連盟後援。

会場では世界的な人気を誇り競技人口も多い戦闘ゲーム「フォートナイト」の大会が開かれました。2人1組の「デュオ」と1人で競技する「ソロ」の2部門で対戦。



白熱した人気戦闘ゲーム「フォートナイト」の大会

小中学生を中心に延べ300人近くが出場し、日ごろ鍛えた腕を披露しました。

千歳科学技術大学がdiscordロボット制作体験、日本航空大学が北海道がドローンプログラミングの体験ブースを出展。苫小牧高専や恵庭の北海道ハイテクノロジー専門学校による体験コーナーも並びました。

eスポーツは世界中に競技人口が急増中で、市場がグローバルに急拡大しています。千歳が拠点の一つとなれば交流人口の増加が期待されるほか、知名度向上、eスポーツを契機とするIT教育の深化、人材育成など、これからの産業を担う次世代の確保につながるといった可能性があります。千歳では大規模半導体工場の建設・操業が予定されており、観光連盟でも将来のまちづくり、地域振興のためeスポーツの活用を視野に取り組みを進めていきます。



人気ゲームぷよぷよの対戦も行なわれました

詳しくはこちら



新千歳空港
寿インター駐車場

近くて便利! 空港まで7分 安く安心! 1日 600円

新千歳空港 寿インター駐車場

千歳観光物産サテライト【ミル】

大好評!! 物産フェア!!
12月29日まで

東北6県+
長野・山口フェア

千歳市千代田町7丁目 1789-3
千歳ステーションプラザ1階

体験でアイヌ文化を理解

マレク漁体験、古式舞踊披露など

第3回鮭の日・アイヌフェスタ

第3回鮭の日のアイヌフェスタが11月11、12両日、サケのふるさと千歳水族館、道の駅サーモンパーク千歳で開催されました。千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会が主催し、同水族館と道の駅が協力。伝統漁具でのサケ漁

体験や古式舞踊披露を通して、訪れた人に千歳固有のアイヌ文化を発信しました。伝統的なもりであるマレクでの漁体験では、挑戦者が逃げ回るサケに狙いを定めて突きますが、なかなか思い通りにいきません。何度か挑戦するうちに見事サケを仕留めると観衆から大きな拍手が送られました。古式舞踊でも伝統衣装に身を包んだ会員らが、アイヌ語で独特の節回しで歌い、それに合わせて、

マレクを使ったアイヌの伝統的な漁法を体験



勇壮な「ク・リムセ（弓の踊り）」などを披露。「ホリツパ（輪踊り）」では道の駅を訪れた人も加わり、踊りの輪ができました。このほかアイヌ文様の刺繍や木彫り体験、アイヌ語のかるたやビンゴを使ったワークショップも開かれ、遊びと体験を通してアイヌ文化を学ぶ企画に、関心のある人も、ふらりと足を運んだ人も、楽しく伝統の奥深さに触れていました。

氷濤ポスター完成

幻想的な雰囲気 目を引くデザイン

千歳・支笏湖水濤まつり・氷の美術館のポスターがこのほど完成しました。千歳市内をはじめ道内外の観光関連施設などで掲示され、千歳を代表する冬の祭典をPRし、気運を盛り上げます。



幻想的な雰囲気が目を引く千歳・支笏湖水濤まつりのポスター

デザインは支笏湖ブルーの氷像の中から大氷山の入口に向かう子供の後ろ姿が印象的。氷の世界へ足を踏み入れる高揚感を表現しているようです。氷の額縁にはライトアップされた氷像群の写真が配置され、どこか幻想的な雰囲気です。ポスターとともにチラシも制作。関東圏や札幌などの道内観光情報を発信する関連施設

設のほか、支笏湖地域の飲食店や道の駅サーモンパーク千歳など、市内各所で配布されています。今年は例年とは違った感動を与えてくれそうな氷濤まつり。コロナ禍以来始まった野外で氷の造形を楽しむ美術館という新たなコンセプトをそのままに、昼間の支笏湖ブルー、夜間のライトアップされた氷像群が多くの人々を楽しませてくれることでしょう。

新千歳にクリスマス到来！！ センタープラザにツリー登場

ミル、営業終了のお知らせ

1月末で閉鎖、セール実施予定

観光連盟ではこのほど、諸般の事情を考慮した上で、千歳観光物産サテライト・ミル（千歳ステーションプラザ1階）の営業を2024年1月末をもって終了することといたしました。長年にわたるご愛顧に、深く感謝申し上げます。

営業終了に際しまして、1月には閉店セールを開催を予定しております。観光連盟では今後も、千歳産品をはじめ姉妹都市、友好都市などの特産品を発信していく考えです。今後も連盟の事業へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

新千歳空港国内線ターミナルビル2階センタープラザに、高さ6・8メートルのクリスマスツリーがお目見えし、空港利用者の注目を集めています。設置したのは道内7空港を管理運営する北海道エアポート。11月23日に点灯式はSTVアナウンサーの木村洋



二さん、タレントの彦摩呂さんが参加し、約50000個の電球に明かりが灯されました。ツリーは25日まで同プラザに飾られ、利用者の目を楽しませます。

イベント情報

▼サンタダイバーと記念撮影
（23年12月23～25日、サケのふるさと千歳水族館）サンタクロースに扮したダイバーが大水槽や支笏湖水槽に現れ、記念撮影できます。午前11時と午後3時に開催。

▼日本橋三越本店北海道展
（2024年1月10～15日、日本橋三越本店）千歳市、支笏湖漁業協同組合、千歳観光連盟が連携。「支笏湖チップづくし」の提供や氷濤まつりをモチーフにした「氷濤テラス」を開催し、千歳・支笏湖をPRします

▼千歳・支笏湖氷濤まつり
氷の美術館（24年1月27日～2月25日、支笏湖温泉第5駐車場）昼間は独特の青、夜はライトアップされた幻想的な世界で見る人を魅了します。

編集後記

小春日和の12月上旬のある早朝、久しぶりに千歳川沿いを散歩しました。穏やかな風に吹かれながら清流を眺めていると、千歳神社近くで白い物体が視界に。2羽のシロサギでした。つがいなのか、2羽がそろって悠々と師走の空へと舞い上がります。その様子はどこか神々しく、師走だけあり新年の吉兆の到来を期待してしまいました。2023年も残りわずかです。新たな年が大空に舞い上がるシロサギのように、千歳のさらなる飛躍の年になることを願ってやみません。今年もありがとうございます。新年が会員の皆さまに幸多き年であることをお祈りしております。よい年をお迎えください。（ひ）